

「授業改善アイデア例」の紹介！

佐賀県教育の最重要課題『学力向上』を今年度も皆さんの学校におかれては全力で取り組んでこられたことと思います。指導方法・指導体制の工夫や家庭学習の充実といった点についての見直しや改善に取り組んでこられたことでしょう。教育政策課から学力向上推進取組の一つとして授業モデルとなる「授業改善アイデア例」が、各学校へ配信され、HPにも掲載されました。ぜひ、参考にいただき、さらなる学力向上をめざした授業を来年度も期待します。

(授業改善アイデア例は下の URL から閲覧可)

https://www.pref.saga.lg.jp/web/kurashi/_1018/ik-genba/_82700.html

授業改善アイデア例

平成27年2月 佐賀県学力向上対策研究部会


佐賀県小・中学校学習状況調査及び全国学力・学習状況調査結果から明らかとなった、事業実施年度の教科の強みを生かすための取組として、授業づくりのポイント及び授業改善アイデア例を掲載します。

日々の授業づくりにおける「めあて」を明示し、目的を達成できるように「めあて」を明示し、子どもの学習意欲を刺激するよう、

★自分の考えを「説明」する機会を通して思考を深めさせ、

一人一人で考える場面、考えれたことを互いよう。

【授業改善アイデア例 中学校国語編③】
 (学年) 2年 (単元名) 「よりよい情報の受け手になろう」(4/6)
 (中核教材) 「情報検索で開ける世界」(東京書籍)
 (補助教材) 「メディアとの付き合い方」(光村図書)



◆本時の主な流れ
 ①本時の内容と目標を確認し、学習計画表に自己目標を記入する。
 みんなの考えから、メディアを活用するための技を見つけよう。

◆本時のねらい
 筆者の考えや自分の経験を範囲にしながら、メディアとの付き合い方について自分の考えをもち、情報検索のための3が案にまとめる。

◆指導上の留意点

新教育課程の動向 Part2 ～特別の教科 道徳編～

平成30年度より「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」(仮称)として生まれ変わります。そして、来年度(平成27年度)からは移行期間として趣旨や内容を踏まえた取組が可能になります。(※右図参照)

中央教育審議会の答申においては、道徳の時間をより充実していくために、6つの内容が提言されました。(※右下参照)教科化に伴って、新しく教科書が導入され、評価(記述式評価)を行うようになります。「道徳の時間」を特別の教科として位置づけられますが、学校の教育活動全体を通じて実施する「道徳教育」の考え方は基本的に維持されます。また、学級担任が授業を行い、授業時間数は小1が年間34時間、小2～中3は年間35時間で現状と同様です。

2月に文部科学省より提案された指導要領改定案には、「考え議論する道徳授業」への転換を求めたり、いじめへの対応を意識した内容(「自分と異なる意見を大切にすること」など)が学習内容に付け加えられたりしています。

今後、道徳教育の充実のために、個々の担任の先生が道徳の授業をしっかりと行えるよう、研修や授業研究の組織的な取組が必要になってくることでしょう。

現時点での予定(平成26年12月25日現在)			
27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度～ (2018～)
27～29年度 移行期間 新学習指導要領の総則、「特別の教科 道徳」(仮称)の趣旨・内容を踏まえた取組が可能			「特別の教科 道徳」(仮称)による教育課程編成等
学習指導要領解説 刊行			
評価に係る検討			
※ 新学習指導要領に関する教師用資料の作成・活用			

【中央教育審議会の答申より】

- (1)道徳の時間を「特別の教科 道徳」(仮称)として位置付ける
- (2)目標を明確で理解しやすいものに改善する
- (3)道徳の内容をより発達の段階を踏まえた体系的なものに改善する
- (4)多様で効果的な道徳教育の指導方法へと改善する
- (5)「特別の教科 道徳」(仮)に検定教科書を導入する
- (6)一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価を充実する

平成26年度「学力向上だより」を発行して…

今年度は西部教育事務所から全9号の学力向上だよりを発行いたしました。授業の指導方法改善に関する内容や事務所管内の先生方の授業取組や西部型授業の紹介をしております。西部教育事務所のホームページからいつでも閲覧することが可能です。先生方の指導方法の確認や今後の授業改善の一助となれば幸いです。

http://cms.saga-ed.jp/hp/s-kyoikujimusho/home/template/board/boardList.do?MENU_ID=17171